

ステアリングダンパーステーキット（φ 30 フロントフォーク用）取扱説明書

（06-01-0070：125mm ストローク専用）

製品番号 06-01-0109

適応車種	モンキー / ゴリラ	(Z50J-1300017 ~)
		(Z50J-2000001 ~ 2699999)
		(AB27-1000001 ~ 1899999)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎当キットはφ 30 正立フロントフォーク装着車両専用のキットです。ノーマルフロントフォークには使用出来ません。

◎フレーム No. AB27-1000001 ~ 1899999 の車両で使用する場合、ノーマルフューエルコックがフレームステーと干渉する為、弊社製フューエルコックタイプ1への交換が前提になります。弊社製ハイフローフューエルコックの同時装着は出来ません。

又、使用出来るフューエルコックも指定品があります。

弊社製タイプ1フューエルコック品番：03-03-001 又は純正フューエルコック純正品番：16950-165-053 が別途必要となります。

予めご了承下さい。

◎弊社製オイルクーラーキット取り付け場所がフレーム下と同時装着の場合、仕様条件等が発生します。オイルクーラーキットとの同時装着は、取り付け場所がステアリング下のタイプのご使用を推奨します。（フィッティング AN#6/#8 は干渉し取り付け出来ません）

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。

◎製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。

◎当製品は、弊社製別売のステアリングダンパー：06-01-0070 専用のダンパーステーキットです。

ステアリングダンパー TYPE-1：06-01-300 には使用出来ませんのでご注意ください。

◎分解、組み付け作業は、適応車種の純正用サービスマニュアルを参照し確実に行って下さい。

◎この取扱説明書は、基本的な技術や知識を持った方を対象に作成しております。

取り付けに経験の無い方や、取り付けに必要な工具等をお持ちで無い場合は、取り付け作業は行わずに指定工場、又は認証工場などの車両整備が可能な業者へ取り付けをご依頼下さい。

◎ノーマルステップ装着車両に取り付けた場合、ステアリングダンパーストロークの関係で左一杯にハンドルを切った時、左足とダンパーロッドが干渉します。十分注意してご使用下さい。

◎ステアリングにガタがある等正しくメンテナンスがされていない場合、ステアリングダンパーの性能が発揮出来ません、正しくメンテナンスを行って下さい。

◎アルマイト製品は経年変化により、色褪せ等発生する場合があります。予めご了承下さい。

～特徴～

○フレームステーはアルミ削り出し製にステンレス製リボルトを組合し取り付け位置を微調整出来る様設計しております。

○ダンパーステーは確りとフロントフォークをホールド出来る、アルミ削り出し製で1ピース構造。表面は耐食性に優れたアルマイト処理を行っています。

○φ 30 正立フロントフォークキット / φ 30 ワイドフロントフォークキット（60mm オフセットタイプ）どちらでも装着可能としています。

○オイルクーラーキットと同時装着可能にするカラーを付属させております。

! 注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

■作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）

■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）

■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）

■製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）

■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）

! 警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）

■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）

■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）

■点検、整備を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（事故につながる恐れがあります。）

■製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）

■走行中は、危険ですので絶対にステアリングダンパーの減衰力調整は行わないで下さい。調整は、車両が停止状態の時に行って下さい。（事故に繋がる恐れがあります。）

■車両の仕様により、ステアリングハンドルを左一杯に切った時、左足とダンパーロッドが干渉します。その様な走行状態では十分注意する様にして下さい。又、ロッドに引っかかる様な服装では走行しない様にし、ライディングに適した服装、装備で走行して下さい。（ダンパーロッドの干渉により、足への打撲、ダンパーロッドが引っ掛かり思わぬ転等に繋がる恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16

TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

製品内容



番号	部品名	個数	リペア品番
1	フレームステー	1	00-06-0127 (Uボルト / フランジUナット付)
2	ダンパーステー	1	00-06-0133 (ソケットキャップスクリュー付)
3	スペーサー 10mm	1	53750-RSD-T00
4	Uボルト (6x72x15)	1	73741-165-T00
5	イグニッションコイルステー	1	00-06-0061
6	カラー 6mm	2	15671-165-T00
7	フランジUナット 6mm	2	00-00-0091 (6ヶ入り)
8	フランジボルト 5x10	1	00-00-0411 (5ヶ入り)
9	ボタンヘッドソケットスクリュー 6x20	2	00-00-0084 (5ヶ入り)
10	ソケットキャップスクリュー 6x25	1	00-00-0722 (5ヶ入り)
11	ソケットキャップスクリュー 8x25	1	00-00-0740 (5ヶ入り)
12	ソケットキャップスクリュー 8x35	1	00-00-0741 (5ヶ入り)

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご注文下さい。

品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

○車両をメンテナンススタンドにかけ、車体を安定させて下さい。

○左サイドカバーとシートを取り外します。

○フューエルタンクのボルトを外し、キャブレターの燃料ホースの接続を外してフューエルタンクを取り外します。

○ステアリングハンドルを外し、トップブリッジを取り外します。

○ヘッドライト、ヘッドライトケース、仕様によりヘッドライトステーを取り外し、フロントフォーク左側に、②ダンパーステーを差し込み取り付けます。



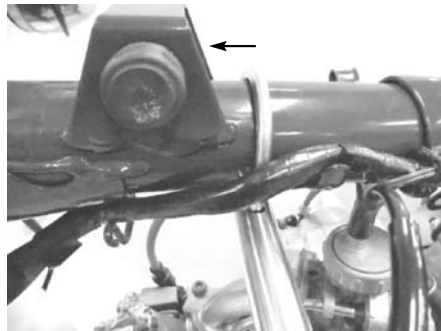
○取り外したヘッドライト回りを、取り外しと逆手順で取り付けます。

▲注意：使用するキットの要領に従い作業をする事。

○使用するステアリングキットの要領に従い、トップブリッジ、ステアリングハンドルを取り付けます。

▲注意：使用するキットの要領に従い作業をする事。

○①フレームステーを④Uボルトと⑦フランジUナット 6mmでフレームに指定の位置（フューエルタンクステーいっぱいまでUボルトを近づける）に仮締めします。
この時④Uボルトはメインハーネスの内側を通して下さい

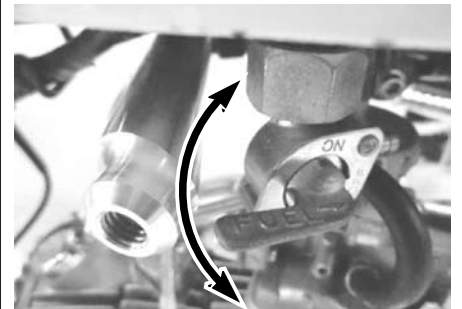


○フレームNo. (Z50J-2000001～269999)の車両は、イグニッションコイルのターミナル、プラグキャップを外します。コイル取り付けボルトを緩め、イグニッションコイルを取り外します。(AB27は必要ありません。)



○フューエルコックのナットを緩め、フューエルタンクを戻し、①フレームステーと干渉が無い位置まで回転させ、ナットを締め付けます。

※フューエルコックのナットは締め過ぎないで下さい。パッキングが切れる可能性が有ります。(AB27-1000001～の車両のノーマルフューエルコックは干渉する為、弊社製タイプ1、又は純正の16950-165-053に交換が必要となります。)

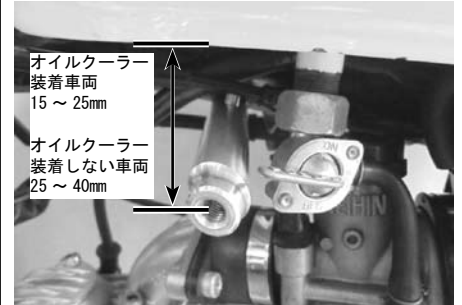


○①フレームステーをフューエルタンク端部から指定の位置に、フレームステーの角度をずらして合わせます。

オイルクーラー装着車両 15～25mm

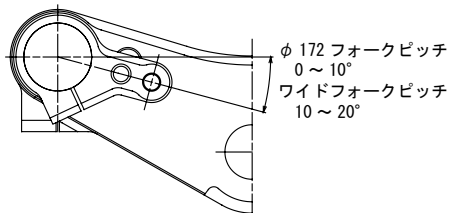
オイルクーラー装着しない車両 25～40mm

※指定寸法は目安です。使用するキャブレターやその他のパーツの状況により微調整は可能です。



■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

○②ダンパーステーを進行方向に向かって指定の位置に⑩ソケットキャップスクリュー 6x25 で仮締めします。



●フレーム下オイルクーラーと同時装着時
●キット内の⑥カラー 6mm をオイルクーラーステーとオイルクーラーとの間に挟み、キット内の⑨ボタンヘッドソケットスクリュー 6x20 を用いて取り付け、オイルクーラーの位置を下げます。
この時、オイルクーラーキットに同梱しているスプリングワッシャは使用せず、ブレンワッシャ、⑨ボタンヘッドソケットスクリュー 6x20 で規定トルクまで締め付けます。

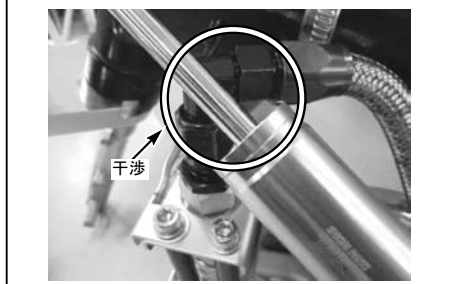
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ボタンヘッドソケットスクリュー 6x20
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



●オイルクーラーホースの取り回しを変更します。
ステアリングダンパーを取り付ける部分にホースを取り回している場合、オイルクーラーステーとオイルクーラーとの間を通し取り回しを変更します。



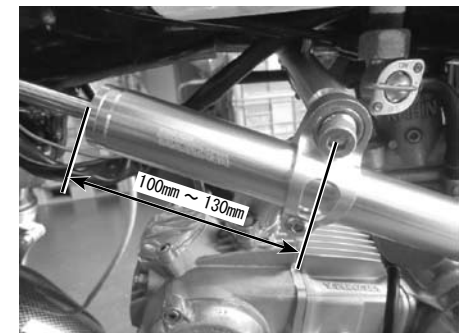
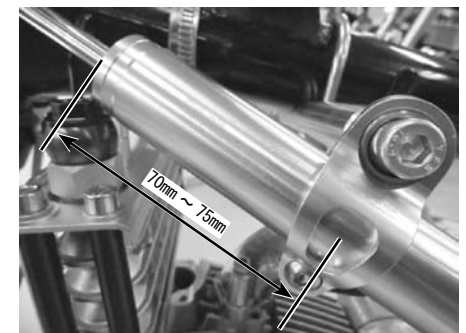
★オイルクーラーホースを AN#6 等のフィッティングをご使用の場合、フィッティング部がステアリングダンパーと干渉する為、同時装着出来ません。
又オイルクーラー本体を、上下反対に取り付けてもフィッティング部がシリンダーヘッドに干渉する為、対応出来ません。ご了承下さい。



○別売のステアリングダンパー本体に、ホルダーを入れ、①フレームステーに⑪ソケットキャップスクリュー 8x25 を用いて取り付け、ステアリングダンパーを指定位置に合わせ、ホルダーのボタンヘッドソケットスクリューを規定トルクまで締め付けます。

オイルクーラー装着車両 70 ~ 75mm
オイルクーラー装着しない車両 100 ~ 130mm
※指定寸法は目安です。使用するキャブレターやその他のパーツの状況により微調整は可能です。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ボタンヘッドスクリュー
トルク：5N・m (0.5kgf・m)



○ステアリングダンパー本体のロッドエンドを、②ダンパーステーに③スペーサー、⑫ソケットキャップスクリュー 8x35 を用いて取り付け、⑫ソケットキャップスクリュー 8x35 を規定トルクまで締め付けます。

※③スペーサーは座面が大きい方を②ダンパーステー側に向け取り付けます。

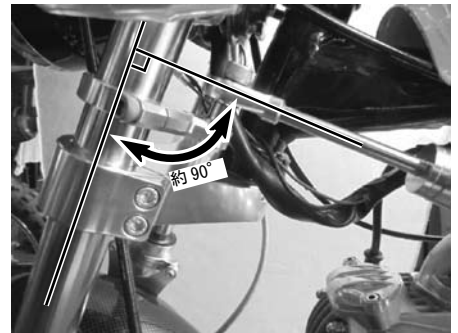
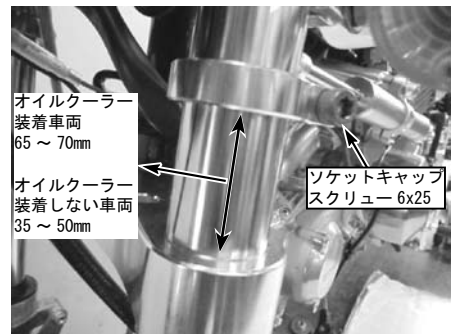
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー 8x35
トルク：20N・m (2.0kgf・m)



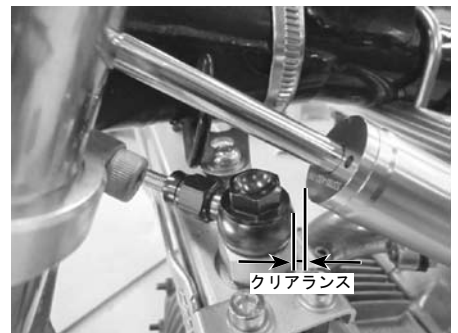
○ステアリングダンパーのロッドがフロントフォークに対して垂直になる様、②ダンパーステーの位置をステアリングステムから指定寸法範囲に調整し、①フレームステーの位置を微調整して、②ダンパーステー部のソケットキャップスクリュー 6x25 を規定トルクまで締め付けます。

オイルクーラー装着車両 65 ~ 70mm
オイルクーラー装着しない車両 35 ~ 50mm
※指定寸法は目安です。使用するキャブレターやその他のパーツの状況により微調整は可能です。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー 6x25
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

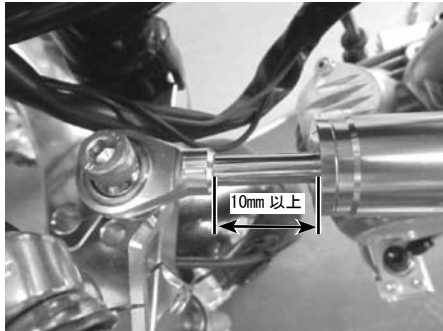


●オイルクーラー取り付け車両は、オイルクーラーのバンジョー部にステアリングダンパーのシェルボディーが干渉しない位置にホルダーのクランプ位置を微調整します。
(オイルクーラー装着時は、若干 90° からズレますが、ロッドエンド角度の範囲内の為、特に問題ありません。)

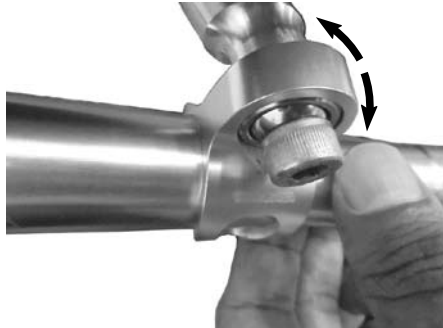


○ステアリングを左右一杯まで切った状態で、ステアリングダンパーと各部分にクリアランスがある事、ステアリングダンパーがステアリングのストッパーの代わりになっていない事、ステアリングダンパーのホルダーのボールエンド部（ピロボール）に遊びがあるかを確認します。
 (ステアリングストッパーに当たる前に、ステアリングダンパーのストロークでステアリングが止まる状態)

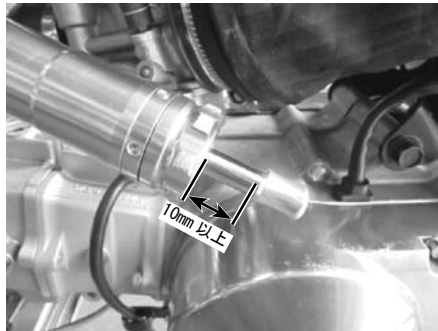
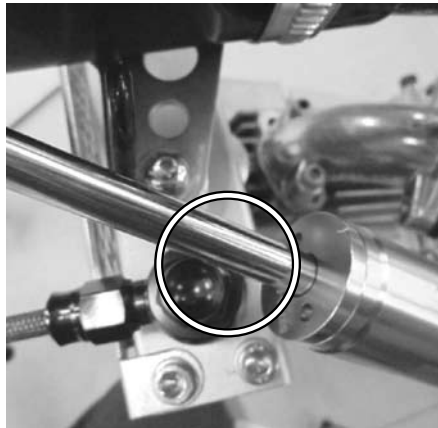
(左一杯に切った時)



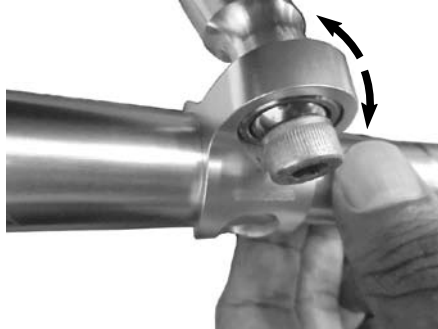
ステアリングを左右一杯切った状態でホルダーが動く事を確認して下さい。



(右一杯に切った時)

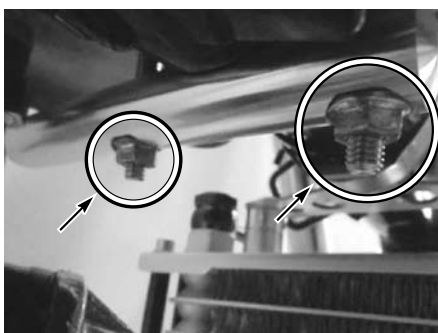


ステアリングを左右一杯切った状態でホルダーが動く事を確認して下さい。



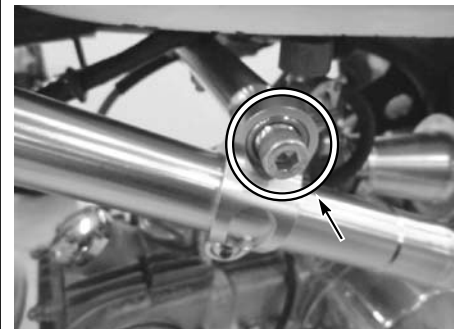
○①フレームステーの⑦フランジリナットを、規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
 フランジリナット
 トルク：12N・m (1.2kgf・m)



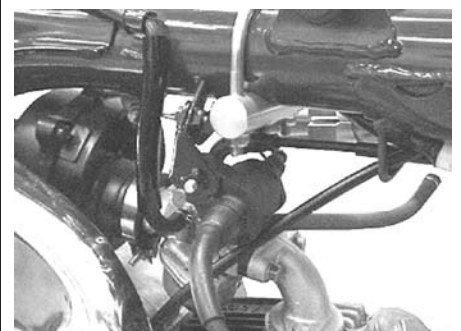
○ステアリングダンパーのホルダーを取り付けている⑩ソケットキャップスクリュー 8x25 を規定トルクまで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
 ソケットキャップスクリュー 8x25
 トルク：20N・m (2.0kgf・m)



○フレーム No. (Z50J-2000001 ~ 269999) の車両は、イグニッションコイルにキット内の⑤イグニッションコイルステーを⑧フランジボルト 5x10 を用いて取り付け規定トルクで締め付けた後、イグニッションコイルステーをフレームに取り付け、ボルトを規定トルクで締め付けます。
 (AB27 は必要ありません。)

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
 フランジボルト
 トルク：8N・m (0.8kgf・m)
 ボルト
 トルク：8N・m (0.8kgf・m)



○フレーム No. (Z50J-2000001 ~ 269999) の車両は、イグニッションコイルにターミナルを接続し、プラグキャップをスパークプラグに取り付けます。
 (AB27 は必要ありません。)

○フューエルタンクを取り付け、ボルトを規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
 ボルト
 トルク：10N・m (1.0kgf・m)

○フューエルチューブをコックに接続し、チューブクリップを取り付けます。

○シートを取り付け、ナットを規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず使用するキットの指示従う事。

○サイドカバーを取り付けます。